

令和7年度

**松陰高等学校(通信制)
学校評価**

浦安校・新浦安校・西船橋校・市川妙典校

令和8年3月31日

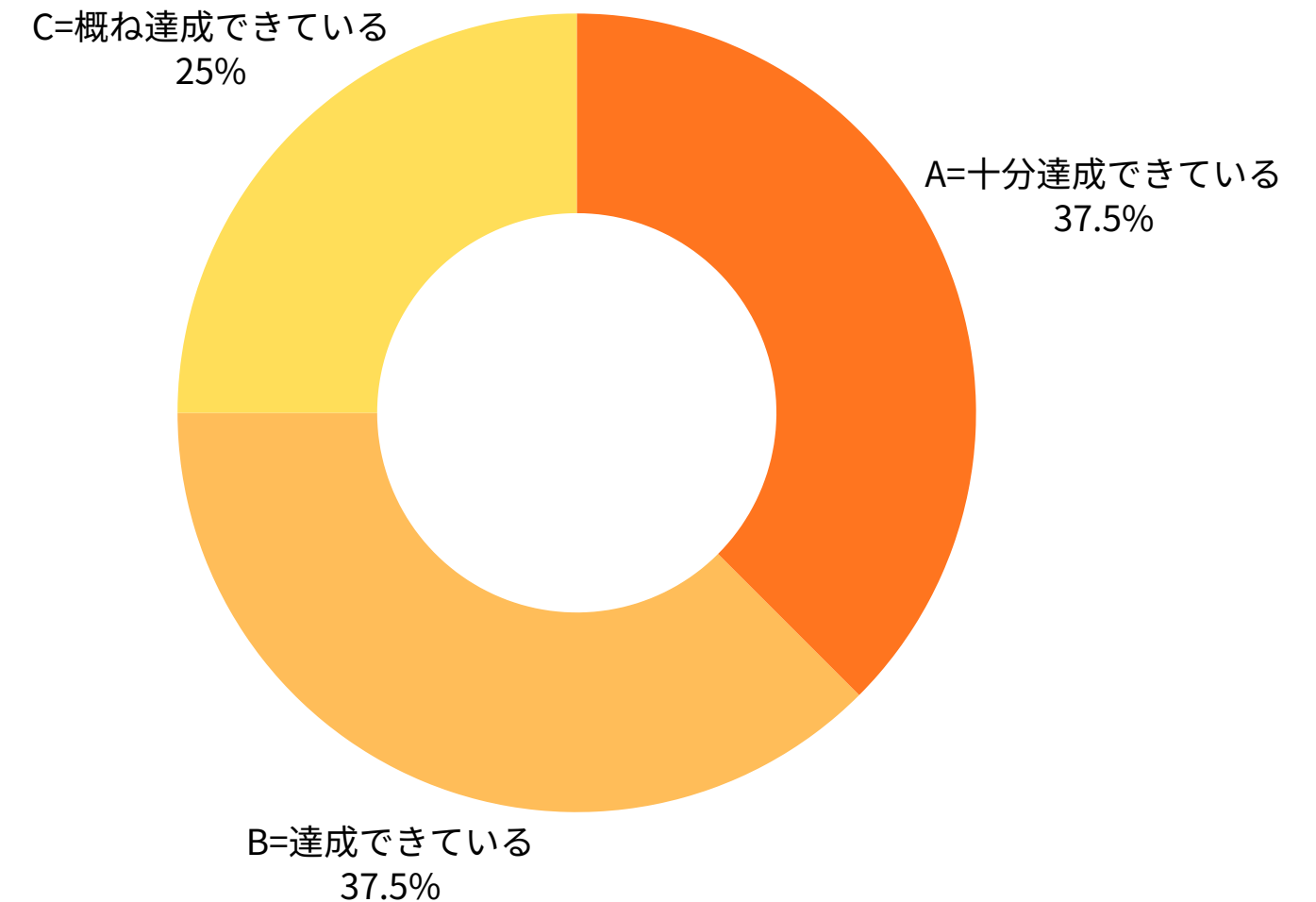
…………… [重点項目] 生徒一人ひとりの継続的な学習の習慣化と学力の向上 ……………

重点目標

- スクーリング・レポート作成・テストへの個別指導の充実と教科内容の理解
- 学習状況の定期的確認と生徒・保護者への連絡
- 「学習の手引き」の有効な活用
- 個別面談の充実と進路実現へのサポート

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- もっと生徒が夢を持てる進路の提案と具体策を展開していきたい。
- 全体の評価としては、目標を達成するための指導、業務の理解に偏りがあった。次年度は全ての教員が均一に対応できる体制づくりを行う。
- 卒業生で卒業認定されなかった生徒はいなかった。今年度も全員卒業できるようサポートいたします。
- 昨年末に個別面談を実施し生徒の状況を把握できている。新年度はスマスク（学習システム）を活用して学習進捗の確認を容易にしている。次年度は休学者の状況確認を年末の早い時期に行いたい。
- 進路指導が全ての生徒に確実に行われている。少ない登校日数の中で、学力を上げることが難しい生徒もいる。
- 生徒の進路指導を手厚く行っており、多くの生徒が主体的に進路選択を行っている。課題は、一部の進路を決めきれずに未定の生徒がいることである。
- レポートのICT化



[重点項目] 望ましい職業観の育成

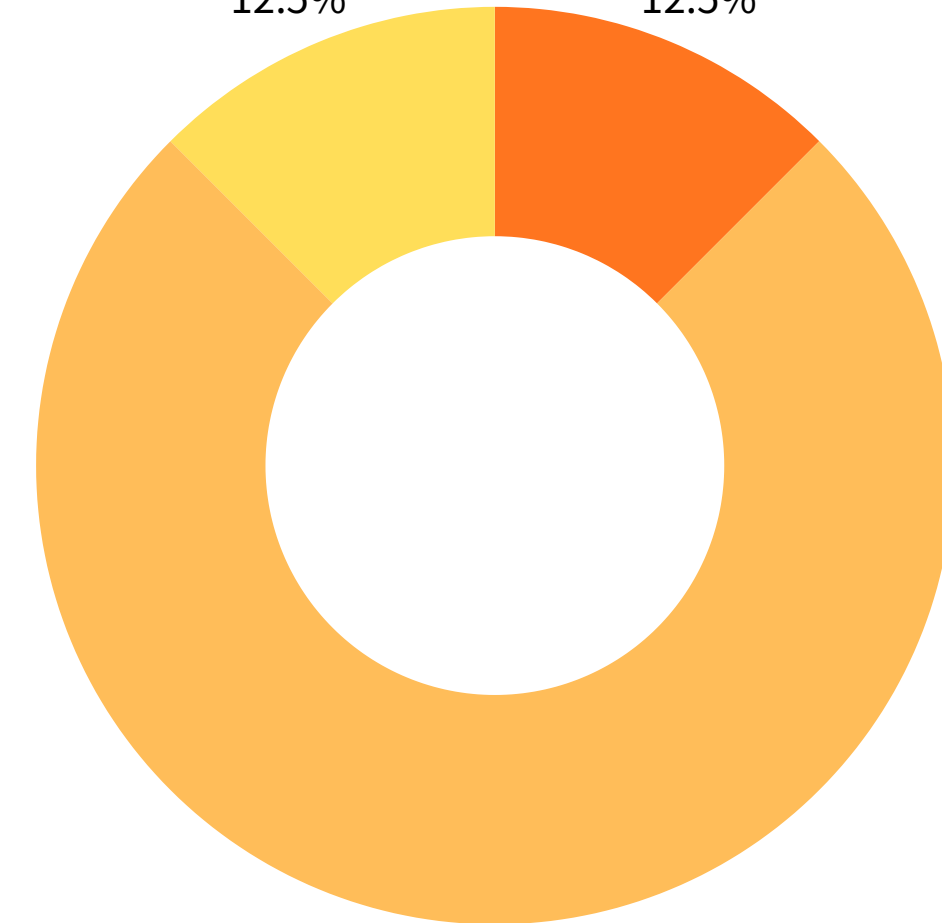
重点目標

- 一人ひとりへのきめ細やかな進路指導の充実
- 進路ガイダンス・個別面談の質の向上

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 生徒一人ひとりに寄り添った、夢の持てる進路の提案と、実現の具体策の提示を充実していきたい。
- 個別にサポートをすることができている。
- 面接指導や小論文の添削指導などきめ細かな指導を実施できた。
- 進路・進学ガイダンスを今年度の早期（4月中旬）に行うことができた。来年度も早期から実施する。
- それぞれの生徒の希望をふまえ、保護者を交えたきめ細かい生徒指導が行えている。
- ガイダンス、外部講師、行事等、三年間を通じて進路を自分で考えられるよう働きかけができている。課題は、自信がなくて決めきれない生徒のフォローである。
- 多くの生徒が希望進路を実現することができた。

C=概ね達成できている 12.5%
A=十分達成できている 12.5%



B=達成できている
75%

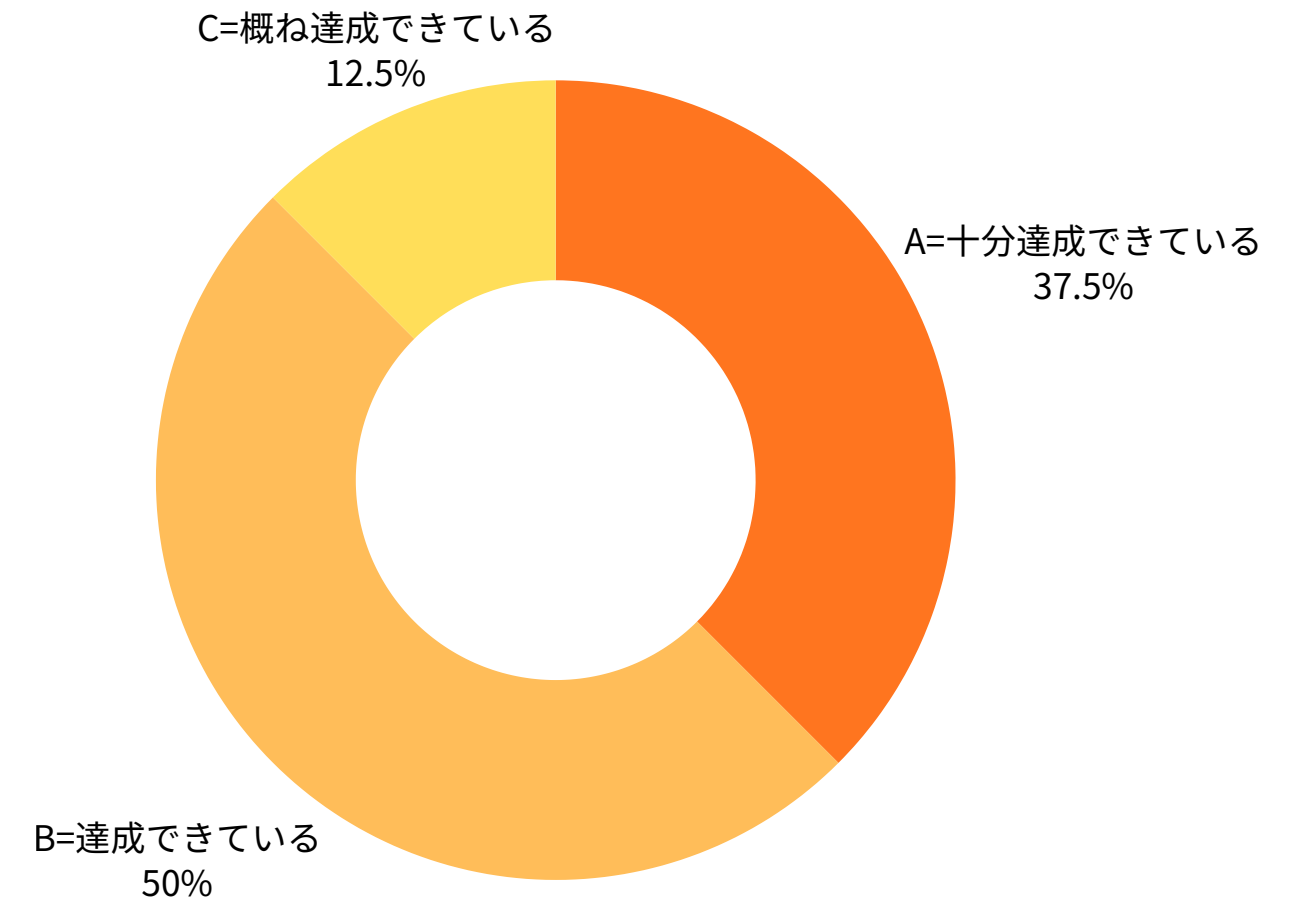
…… [重点項目] 基本的な生活習慣と規範意識の確立（学校生活の安全と安心） ……

重点目標

- 社会性と公共心の育成、規範意識の高揚
- 教職員の共通理解による生徒指導体制の充実

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 非行もなく、大きな問題行動もなく、安全な環境を与えられている。次年度は積極的な地域活動の参加を促したい。
- 生徒を指導する上で必要な事項は毎日共有していた。
- 各学校でルールを統一し、朝のHRやLHRなどで周知できた。
- 授業中の学習態度の指導や校舎内の駐輪場の置き方の指導など行っている。次年度も引き続き行う。
- 学年が上がるにつれ、より社会性を意識した指導ができている。生徒の状況に応じて段階的な指導を行っているが社会に出るには懸念のある生徒もいる。
- 基本的な生活習慣から立て直しの生徒も多く、規範意識よりもまず集団への適応からという生徒が大部分だが、3年間かけて成長できるように関係を作るところから丁寧に行っている。次年度の課題は、どうしても登校できない生徒への対応、継続的な働きかけである。
- 学校外での活動を通して、社会性などを育成している。



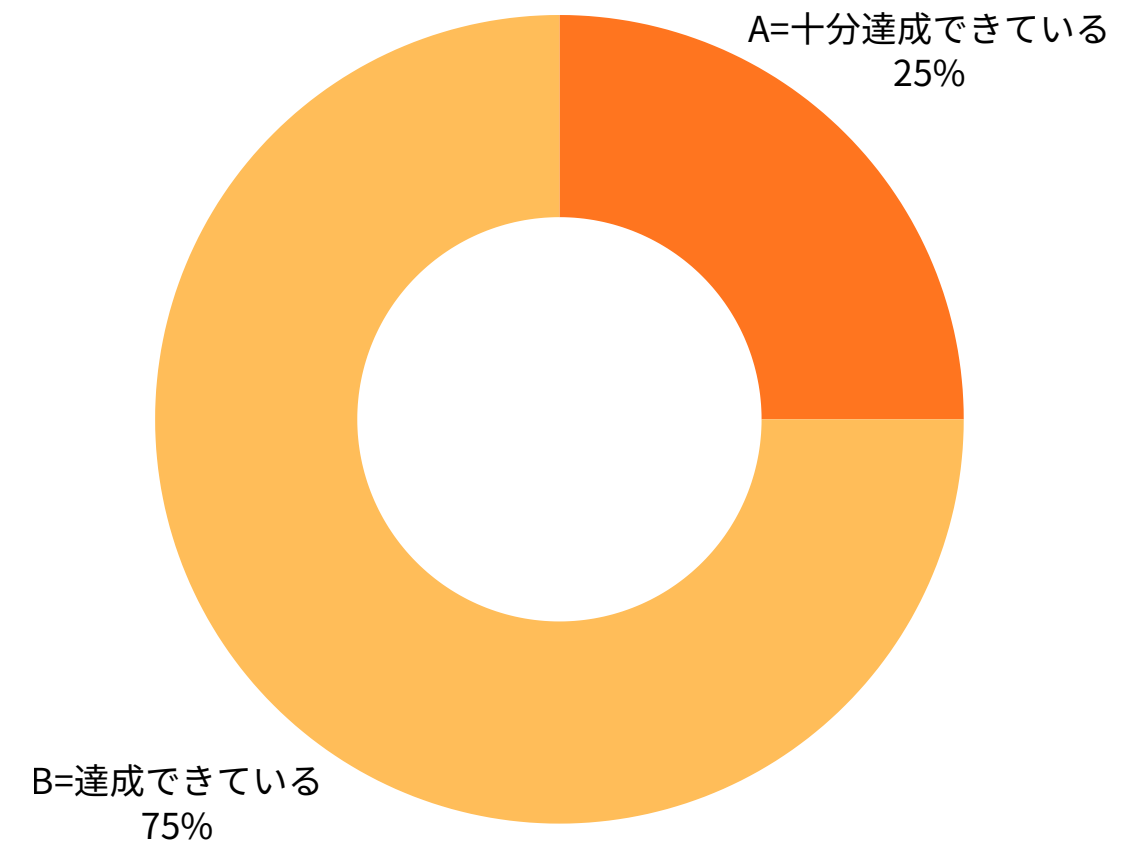
[重点項目] 健全な心身の育成

重点目標

- 心のケアを通して学校生活を援助する体制作り
- 教育相談体制の充実
- 校外学習や宿泊学習を通して心身の充実や道德教育の充実
- ボランティア活動を通しての奉仕精神の育成

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 心理士、児童精神科の医師との連携がうまく機能している。
- 必要な生徒にはスクールカウンセリングを勧める、校外学習を通して関わりを深め、ボランティア活動にも積極的に参加するように呼びかけた。
- 公認心理師によるカウンセリングの実施。校外学習や修学旅行への声掛けによる参加サポートを実施できた。
- 4月より校外学習を実施、また5月の校外学習で在校生の出演するミュージカルの観劇に行くなど積極的に実施している。次年度も引き続き実施する。
- 生徒、保護者に対しきめ細かいケアができています。
- カウンセラーの配置、カウンセリング期間の設定、年5回の校外学習、修学旅行の実施を行っている。必要に応じて訪問看護も連携している。次年度の課題は、ボランティア活動を行いやすい体制にあるにもかかわらず、なかなか生徒が参加しないことである。



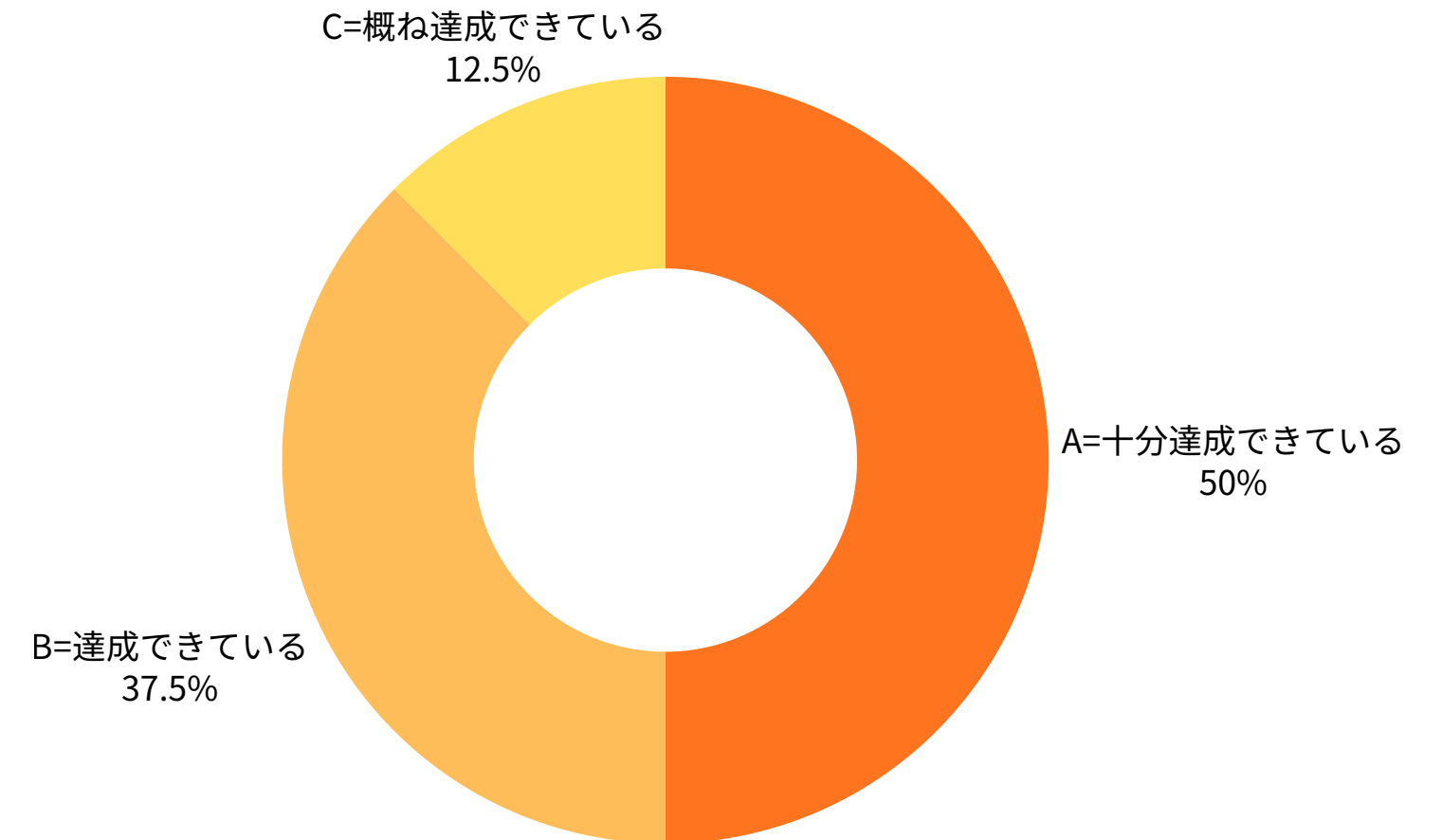
[重点項目] 保護者及び家庭との連携

重点目標

- 不登校、転編入生など多様な生徒への指導
- 生徒に関する諸問題の解決を図るための家庭との連携強化

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 三年からの転学にも対応でき、進路につながられている。次年度は進路の幅を広げたい。
- 転入生が登校した際は一から指導し、巡回指導時も気にかけていた。不登校の生徒には家庭に連絡を入れたり、相談に乗ることもあった。
- 連絡アプリを使った相談体制を確立できた。
- 生徒・保護者とWebチャットツールにより対話して情報共有できている。次年度も同様に対話を密に行う。転入生・新入生には密にコミュニケーションを取るようしている。
- 普段の生徒の様子や保護者との連絡で個々の生徒に臨機応変な対応ができている。
- 連絡アプリも利用して、こまめに家庭に連絡できている。また、入学時に個別の聞き取りを重視しているため、適切なフォローができている。
- 保護者向けの不登校講演会を開催した。



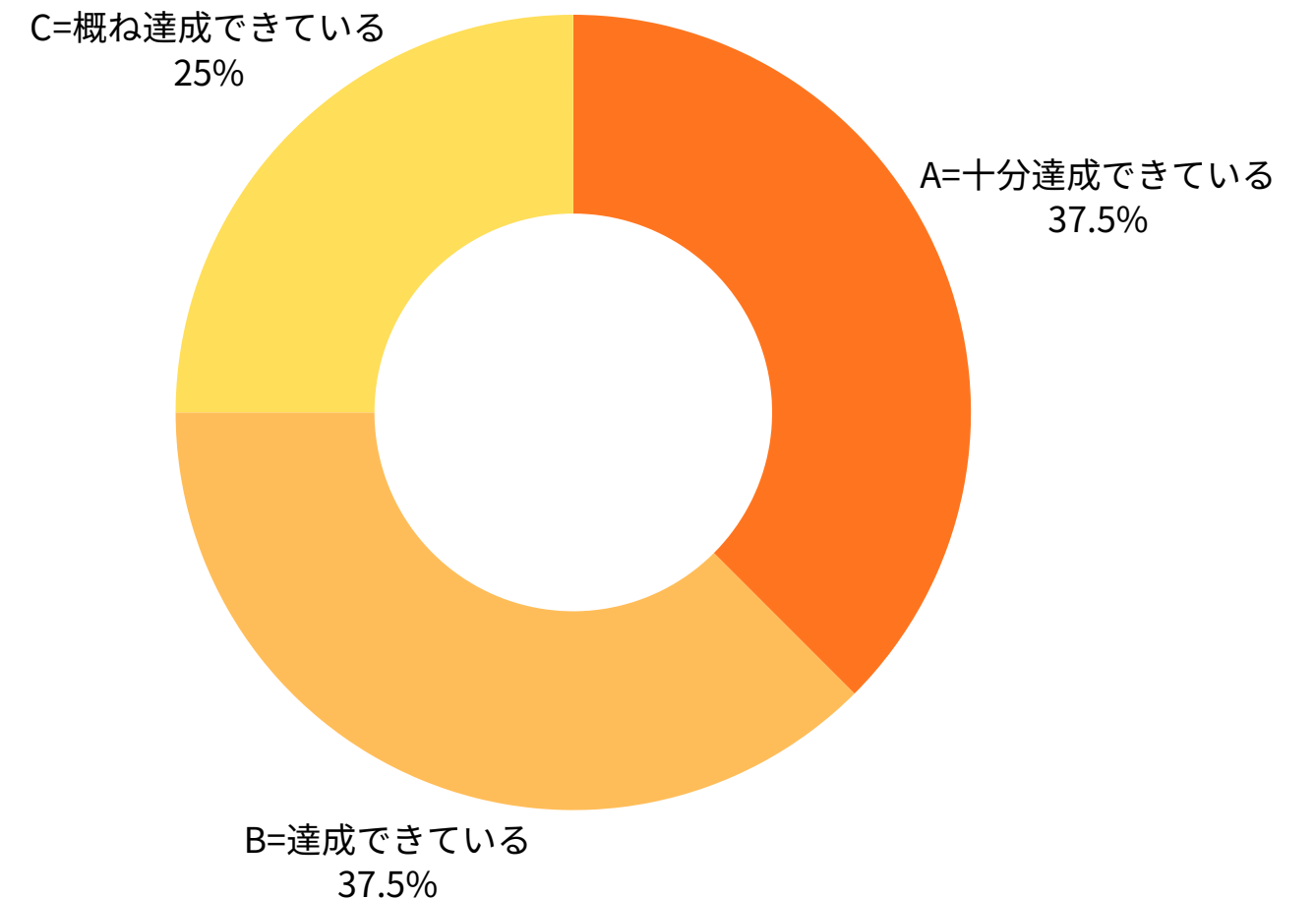
..... [重点項目] 校外活動への積極的な参加

重点目標

- 自然や地域との触れ合いを図るための企画内容の検討
- 特別教育活動への自主的参加奨励
- ボランティア活動への積極的な参加奨励

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 教員の企画がうまく機能している。新入生が楽しみに待てる企画を増やしたい。
- 生徒たちが様々なことに触れられるように校外学習を設定し、参加を呼びかけることができた。
- ボランティア部の部員が放課後等デイサービスのイベントへの運営手伝いを実施。
- 遠足、体育祭、修学旅行等様々な行事を企画している。次年度も引き続き実施する。
- 校外学習やボランティアの呼びかけを行い、社会性を身につけてもらうことを目指している。任意のため、参加率向上への働きかけが課題。
- 機会は非常に多く用意しているが、積極的な参加までは達成できていない。一部の生徒に留まっている。



..... [評価項目] 教務

具体的目標

- 生徒一人ひとりが各々の目標を達成できるよう、学校の運営に取り組む。
- 基礎学力を定着させ、単位 修得に向けての学習の支援 を図る。

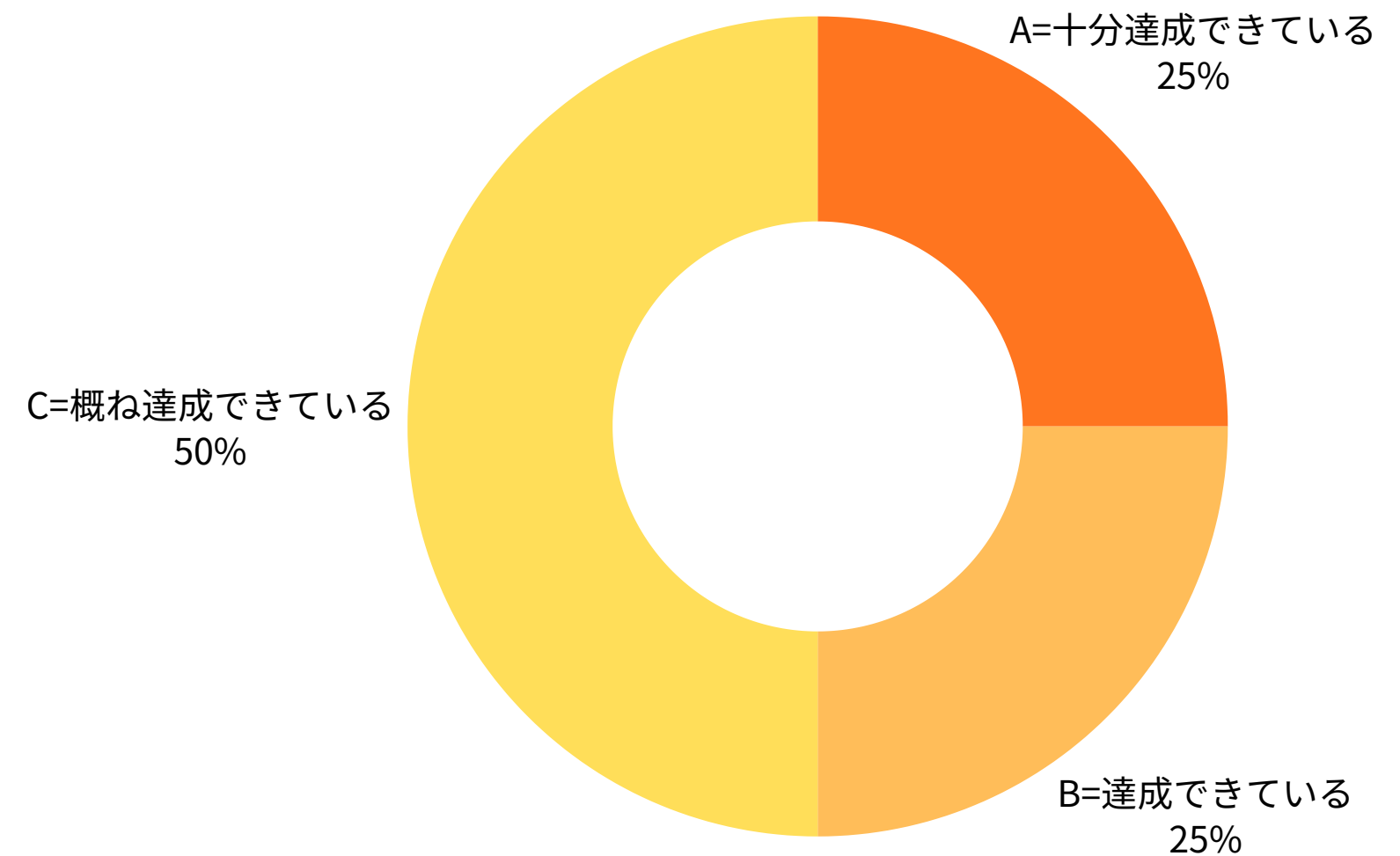
具体的方策

- 教科の年間指導計画を作成し、教科教員間の指導の連携と充実を図る。
- 「学習の手引き」の構成等を検討し、正確で分かり易い内容にする。
- スクーリングや校外学習を含む年間指導計画を作成し、生徒が積極的に参加できるようにする。
- レポート・スクーリングの状況を定期的に報告し、無理なく学習できる環境を整える。
- テストに向けた勉強の支援を行う。
- 生徒の能力・進路に応じた科目が履修できるような履修科目の設定を考える。
- 支援システムの効率的な処理ができるようシステムの構築を図る。
- 家庭との定期的な連絡を通して、生徒の学習状況の把握に努める。
- 教科担当によるレポートの添削を充実させ、生徒の教科内容の理解を図る。

[評価項目] 教務

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 企業からの協力など、年間計画にうまく組み込むことができた。
- レポートやテストの支援は行えたが、年間指導計画が不十分だった。
- レポート・スクーリングの状況を定期的に報告し、無理なく学習できる環境を整えられた。次年度はレポートの添削を充実させ、生徒の教科内容の理解を図ることが課題と考える。
- スクーリングの授業計画を立てている。支援システムを積極的に利用して生徒の学習支援を充実させている。次年度も引き続き実施する。
- 生徒に応じた指導をしているが、登校日数の少ない生徒への指導が難しい。職員間で生徒の状況の把握に努めている。
- レポート添削に時間がかかっている。生徒の学習をよりスムーズにできるようにスマスクの活用をより行うこととした。
- 教員間で生徒の様子などを連携しながら指導にあたっている。



..... [評価項目] 進路

具体的目標

- 生徒の進路実現のため、個に応じた学習計画を立て、前向きな姿勢で学習に取り組めるようにする。
- 進路における情報収集を図る。

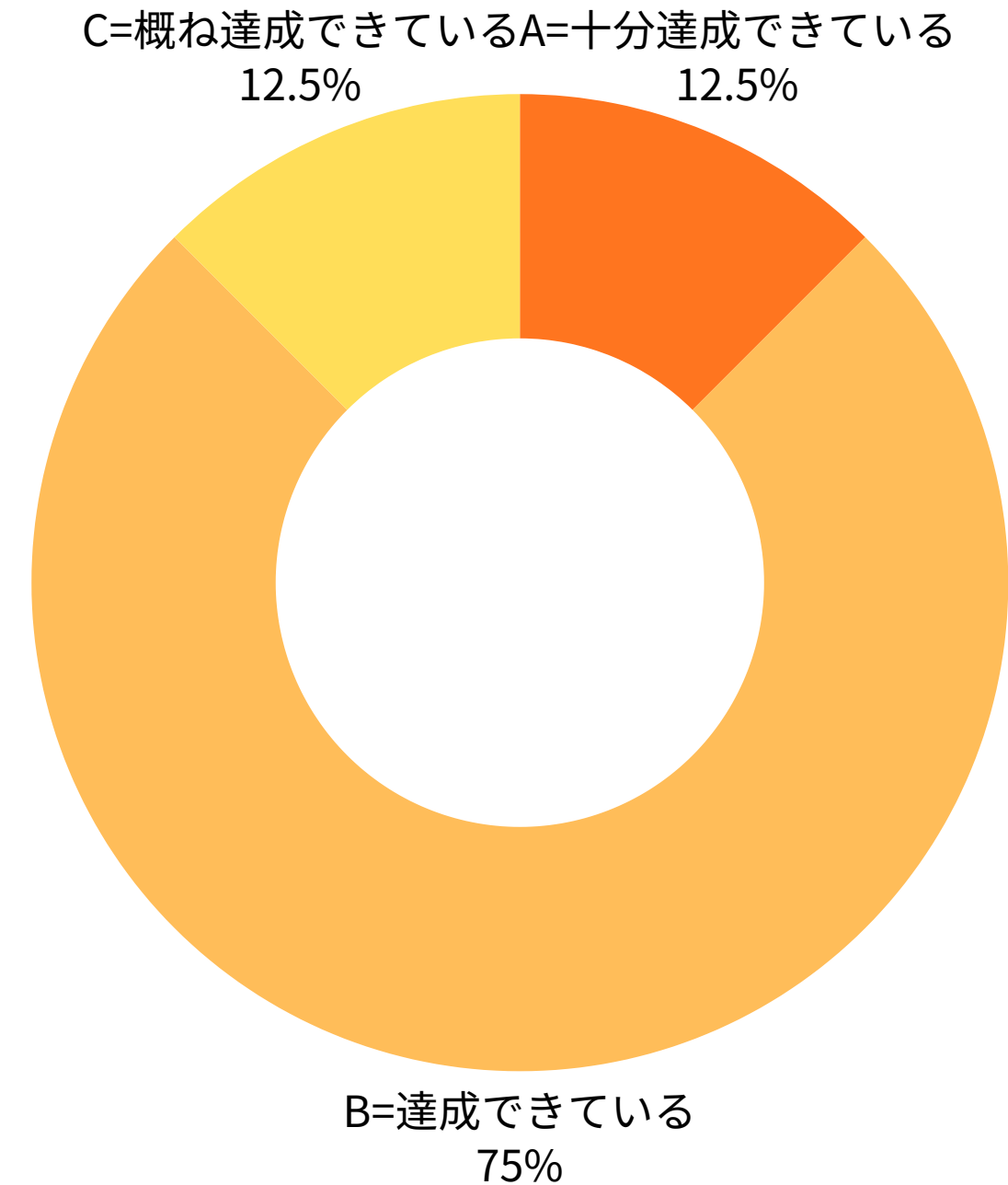
具体的方策

- 自分の興味・関心に気付かせ、それを踏まえて進路の方向性を考えていくようにする。
- 保護者との連携を深め、生徒の進路に関して三者が共有できる環境を整える。
- 進路行事を提供し、自己の進路を考える機会を与える。
- 学年に応じて段階的な進路指導の徹底を図る。
- 個々の生徒の進路相談を充実させるため、進路関係の情報収集、提供に努める。

[評価項目] 進路

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 3年間かけて、適切な進路を選択できた生徒も多かった。
- 進路関係は充実した支援体制を築けていると思う。
- 学年に応じた段階的な指導を徹底できた。
- 第一回就職・進学説明会を4月に実施済。夏休みに3年生の3者面談を予定している。就職面接、総合型試験の指導を行っている。次年度も引き続き実施する。
- 年間を通して先を見据えた進路の声掛けをしており、進路決定まで伴走している。
- 機会をたくさん設けて、保護者との連携もできている。登校が怖かった多くの生徒が、自ら進路を決めることができているのは非常によいと感じる。進学から就職、就労移行まで幅広い生徒がいるので、進路指導の難しさは大きい。



[評価項目]生活指導

具体的目標

- 学習する環境を整える。
- 公共マナーの向上と社会的規範の遵守を図る。
- 思いやりのある心の育成を図る

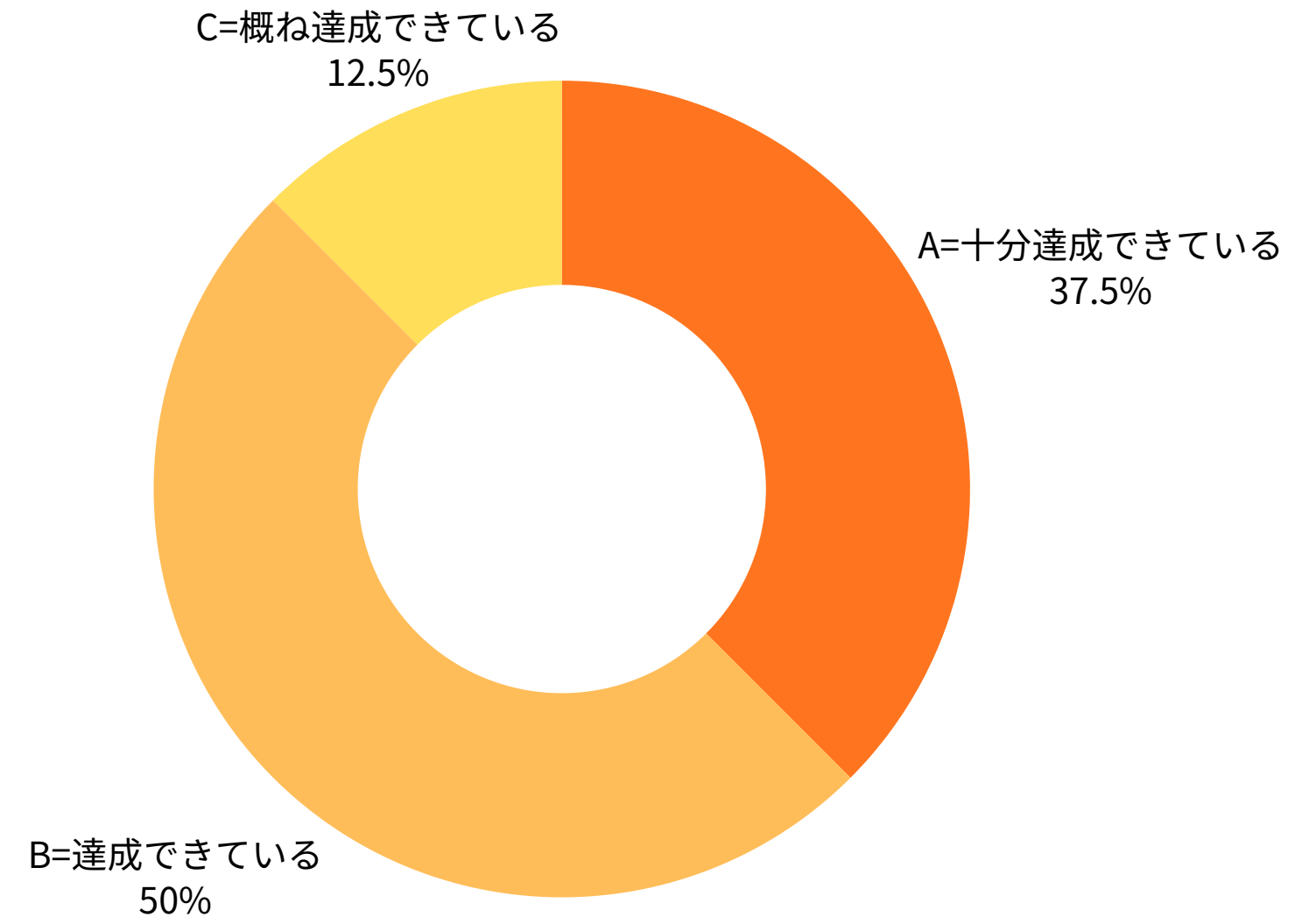
具体的方策

- 場をわきまえた行動がとれるように個々への指導を深めると同時に、自分の行動に責任が持てるような人間形成を目指す。
- スクーリング、講演、面談などを通して薬物の危険性、有害情報の提供、交通ルールや喫煙マナーなどを指導していく。
- 人の心の痛みが分かり、思いやりを持った行動がとれるようになる。

[評価項目]生活指導

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 他者への思いやりを持てる生徒が多く、恵まれていると感じた。
- 公共マナーを守っていけるように、学校のルールを徹底するように各教員心がけていたが、指導が不十分な生徒もいたため、教員間でも再周知が必要。
- スクーリングを受ける際のルールを説明し、逸脱した行動をとる生徒はいなかった。
- 現在は指導が必要な案件が起こっていない。
- 機会があれば声掛けはしているが、より深い話が必要かもしれない。
- 日々の関わりを重視しており、適切な言葉つかいや、会話の規範を示すことができている。重要な問題は主にロングホームルームで時間を取って扱っている。
- 入学時や月末のロングホームルームでマナーや社会性の教育を行っている。



[評価項目] いじめ対策

具体的目標

- いじめ対策防止基本方針の策定を行い、学校の基本方針を明確にする。
- 教職員間の情報交換を密にし、いじめを未然に防ぐ環境づくりに努める。
- ネットにおける生徒の動向を把握し、情報モラルの指導を行う。
- 外部機関との連携を図る体制づくり

具体的方策

- 生徒同士が生き生きと、お互いの良さを認める雰囲気作りに努める。
- 生徒との信頼関係を構築し、生徒の心に寄り添った対応をする。
- 教職員の情報交換を密にし、生徒の理解に努める。
- インターネット等による書き込みを含んだ「いじめ」を未然に防ぐ対応をする。

[評価項目] いじめ対策

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 教職員による見守りを継続しているが、生徒の協力を得られていることが効果的だった。
- 生徒との信頼関係は十分構築できているが、インターネット等で未然に防ぐ対応はできていない。次年度はより生徒の雰囲気などを観察し即対応できるように心がける必要がある。
- 生徒同士のお互いの良さを認める雰囲気づくりに努められた。
- 現在は指導が必要な事案は発生していない。生徒との信頼関係の構築、教職員の情報交換に努めている。来年度も引き続き実施する。
- 生徒間の状況に気を配り、職員間で把握に努めている。
- トラブルはほぼなく、あっても軽微な段階で保護者とも連絡を取り解決できている。インターネット関係のトラブルは影響が大きいため、起こさないようにすることが課題である。学校側で基本的なルールを示し、加害も被害もないようにしたい。
- カウンセリング体制を構築している。



[評価項目] 安全健康管理

具体的目標

- 心身の健康と自己管理能力の育成を図る。
- 教育相談の有効活用を図り生徒の悩みに対応できる体制作りを行う。

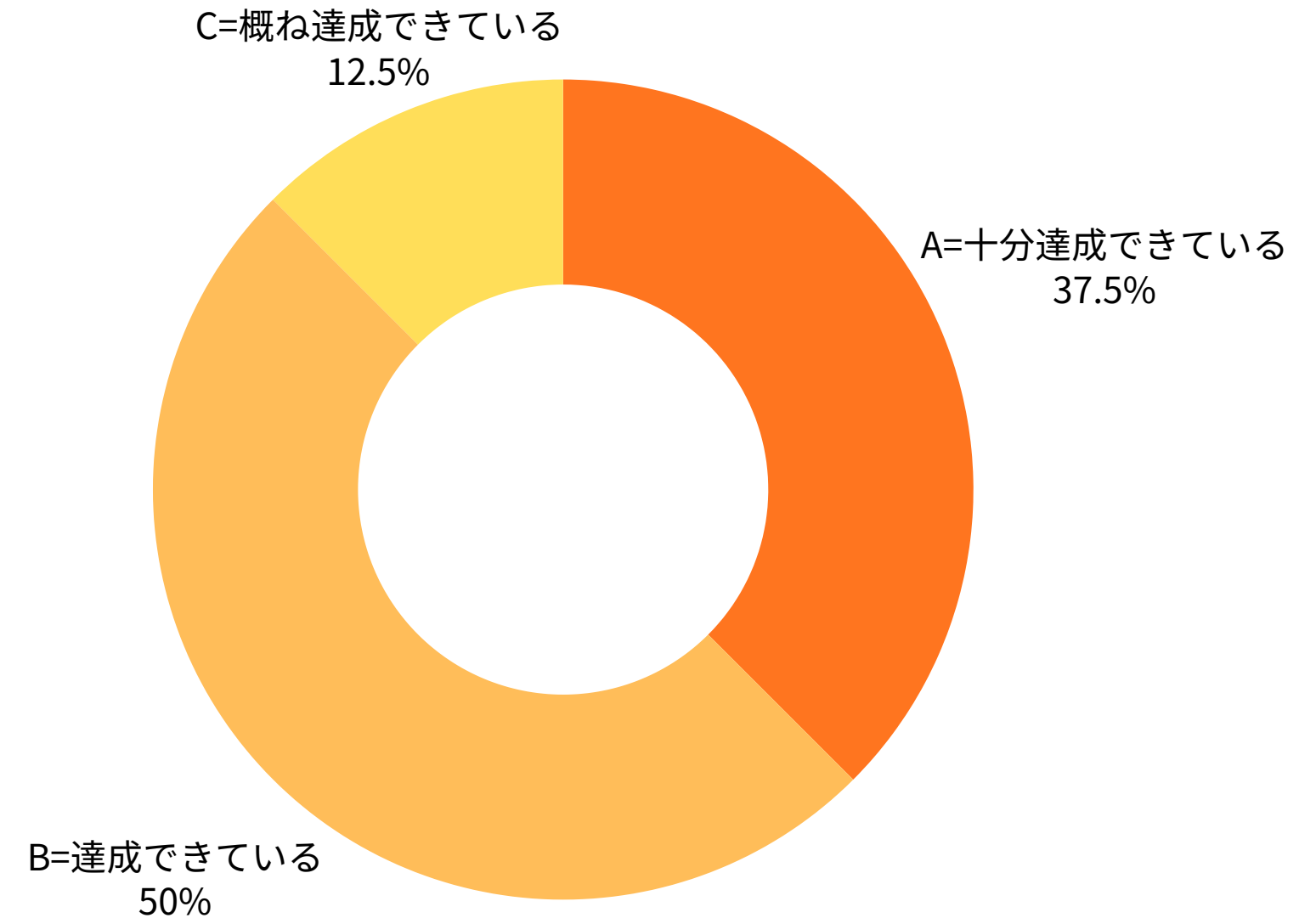
具体的方策

- 生徒の健康診断を実施し、個々の健康維持・安全衛生面について配慮していくことで、生徒が良好な学校生活を送れるように努める。
- 基本的な生活習慣の確立を目指し、自己管理能力を高める。
- 不登校傾向にある生徒に対しては、家庭訪問を行いながら家庭との連携を図り、生徒が学校生活を送れるよう信頼関係の構築に努める。
- 不審者や緊急事態への対応の機能の充実を図る。
- 地域の関連機関との連携を深め、生徒理解に努めることで、生徒を取り巻く環境の改善を図る。
- 生徒の健全育成を図るため、社会のルールを守るよう指導する。

[評価項目]安全健康管理

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- カウンセリングの充実が功を奏している。
- 毎年健康診断を実施し、日々の学校生活でも体調不良者がいないか雰囲気等を観察し即対応できるようにしていた。次年度はより適切な対応が行える体制づくりを進める必要がある。
- 6月末までに在校生全員の健康診断を実施できた。
- 生徒に健康診断書の提出も求めている。教室の換気に努めている。
- 不登校生徒の家庭にもこまめに連絡を取って対処法を提示している。心理カウンセラーとの面談の利用もある。
- 不登校の生徒が多数なので、きめ細かい対応を行っている。課題は、どうしても登校できない生徒や家庭の支援である。



[評価項目] 生徒募集

具体的目標

- 生徒募集のための広報に努める。
- 地域との連携を深めながら
- 本校の教育目標を理解してもらう。

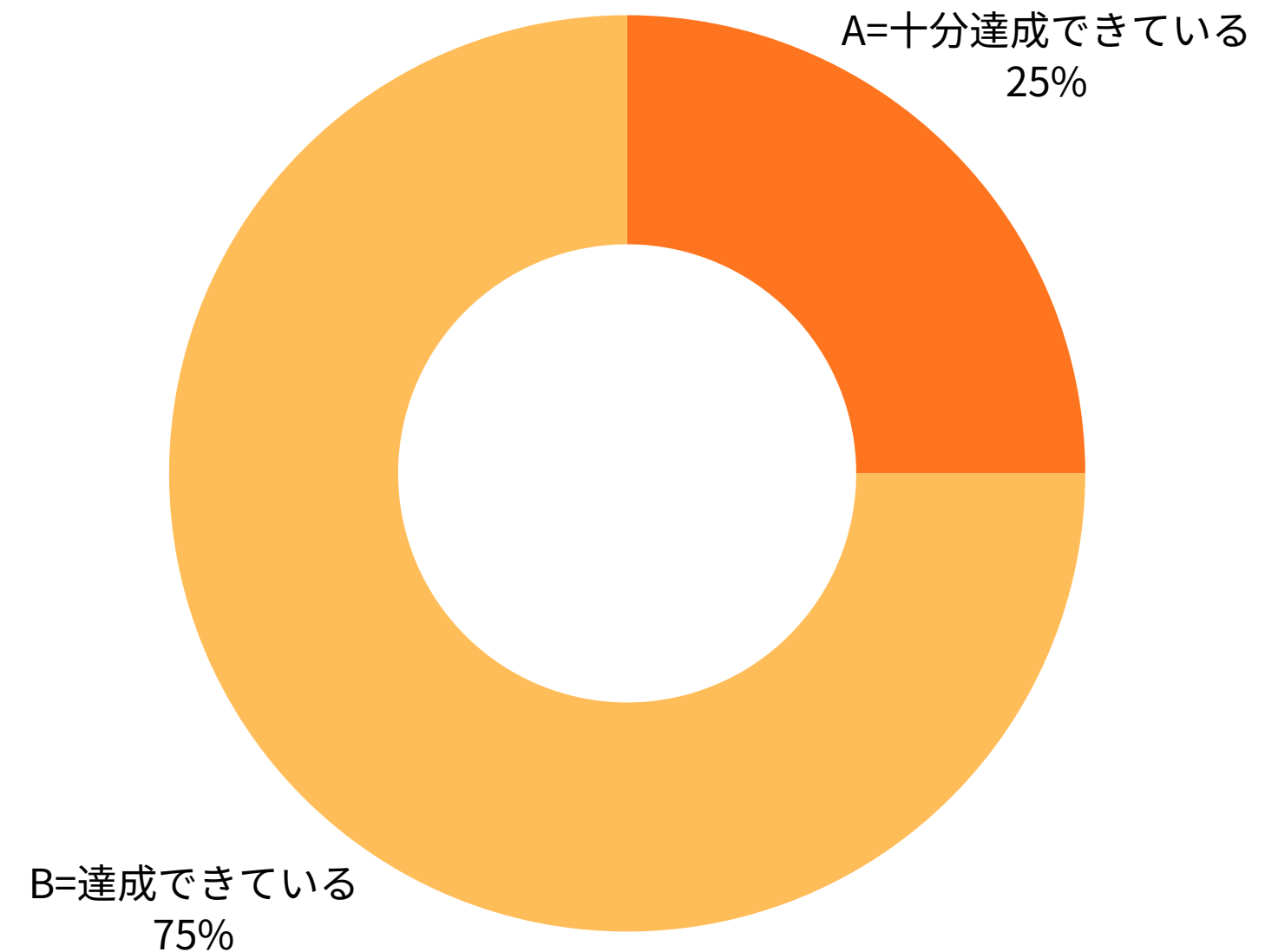
具体的方策

- 学校案内パンフレット、ホームページの内容を工夫・充実させる。
- 地域・他校との連携を深め、生徒募集の効果的な広報に工夫・努力する。また、関係する学校・機関の訪問を積極的に行い、生徒の理解に努める。

[評価項目] 生徒募集

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 学校の特色をもっと理解してもらえるように努める。
- ホームページの更新や、生徒募集に関する取組を改善していつている。だが対応が遅いため迅速に動くことが今後に必要なと思う。
- 地域の放課後等デイサービスと連携を深めた。
- 学校案内パンフレット、ホームページの内容の更新を協議中である。
- 周辺中学をまわったり、SNSを充実させてきた。
- HPは常に更新するようにしている。関係機関の訪問も定期的に行っている。課題は、より分かりやすい、伝わりやすい広報である。
- SNSやLINEを活用して広く周知できるよう努めている。



..... [評価項目] 教科

具体的目標

- 個々の生徒の個性や能力に応じた教科指導の実践
- 教科の特性を生かした指導
- 担当教科との連携による生徒の指導と把握

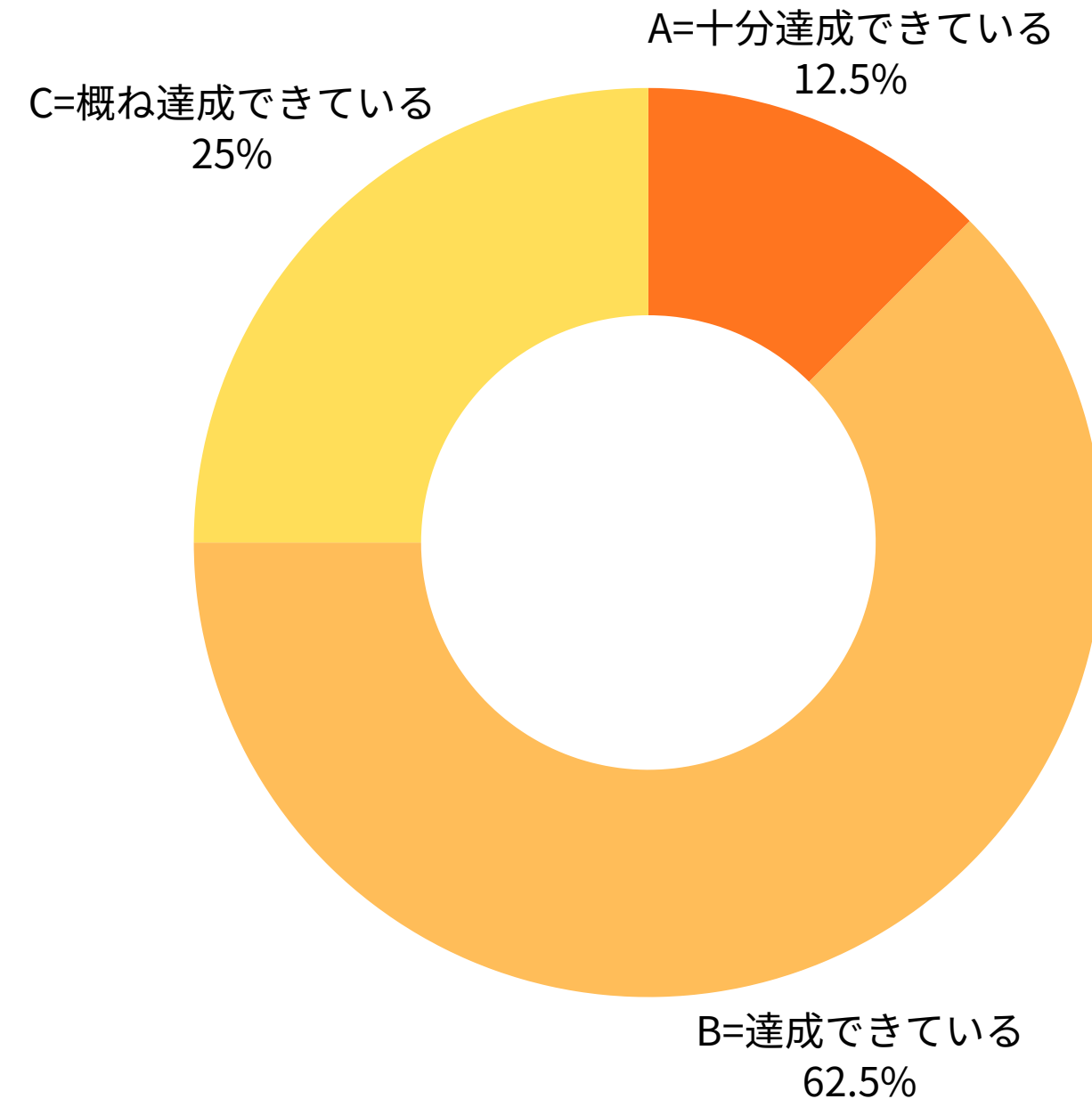
具体的方策

- 指導内容を振り返り、次のスクーリングに生かす。
- 基礎学力の定着をはかり、生徒ができることの喜びを感じさせる。
- 生徒一人ひとりの能力・実態に合わせた教材の提供を行う。
- 基本的な生活習慣を身に付けさせ、計画的に学習させる。
- レポート指導や添削で生徒への理解をうながす。
- 生徒の個性や能力に応じた教科指導の実践を図り、進路の実現を図る。

[評価項目] 教科

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 基礎学力の向上につなげることができた。
- 計画的な学習をするように各生徒に促し、手伝えることもあったが、基本的な生活習慣の定着までは至らなかった生徒もいた。より生徒を理解し、教科指導を行えるようにするべき。
- LHRの時間に成績管理表を生徒個人に配布し、レポート提出状況やスクーリング出席状況を生徒が把握できる環境づくりに努めた。
- 科目ごとのスクーリングの準備をしている。
- 各生徒に応じた指導を心掛けているが、学力向上が望める生徒へのさらなる指導、基礎学力定着が必要な生徒への道筋づくりが課題である。
- 生徒が「わかった」という喜びを感じられることを大事にしている。課題は、基礎学力の定着である。



..... [評価項目] 1年生

具体的目標

- 基本的な生活習慣の確立と学習活動の定着化
- 学習環境づくりの推進
- 多様な生徒への配慮

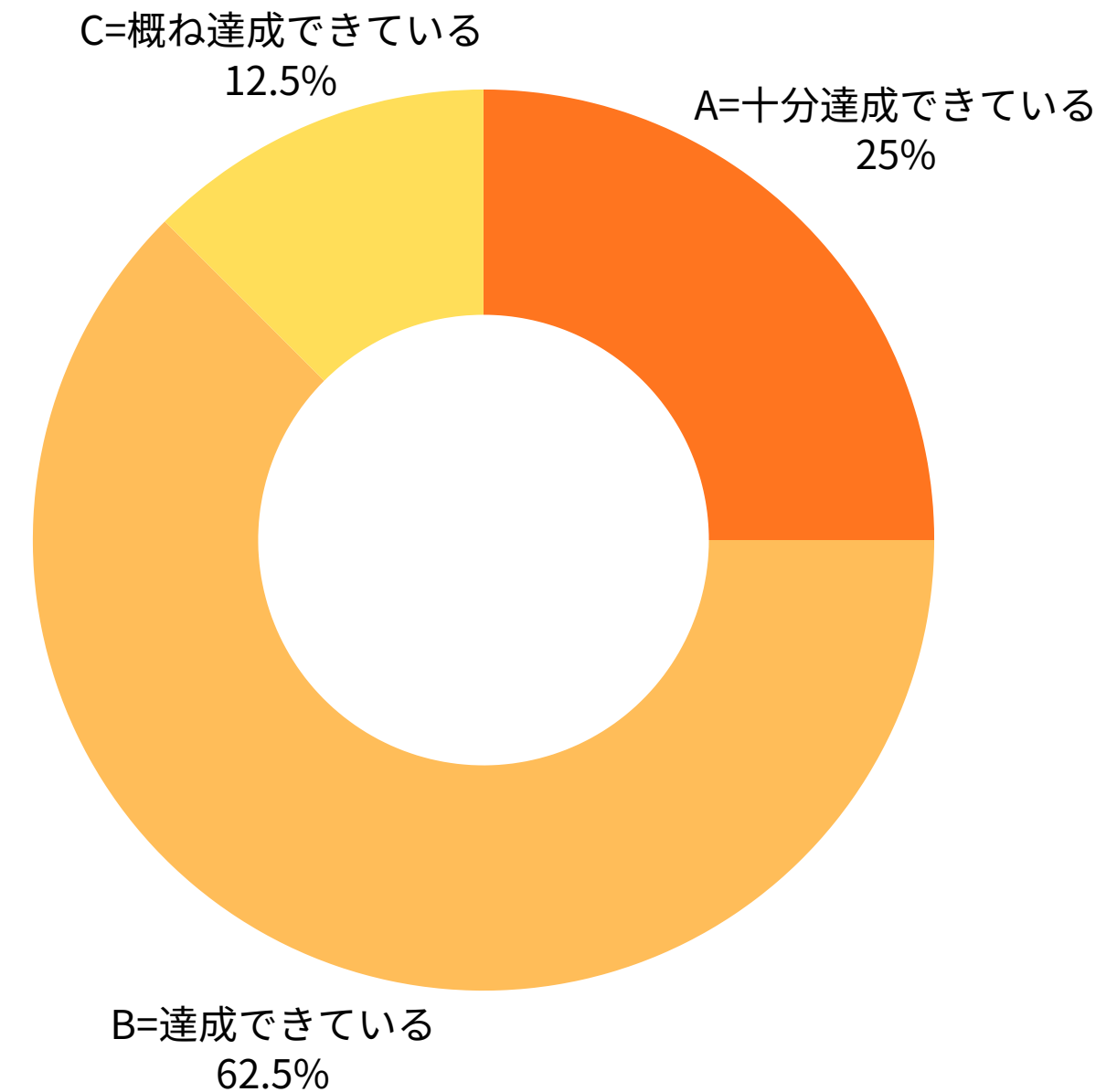
具体的方策

- 自己の進路目標を設定し、自分に向き合う姿勢を育成する。その中で自信を持たせるような環境づくりを目指す。
- 通信制のシステムの中で、個別指導をきめ細かく行う。
- 場をわきまえた行動がとれるような学習の環境づくりを施す。
- 体験学習や学校行事への積極的な参加を促す。
- 生徒の様々な状況を把握し、各生徒に適切に対処できるように心がける。

[評価項目] 1年生

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 通学できない生徒への働きかけが課題。
- 環境づくりに努め、個別に対応できるように心がけられていた。次年度はより多くの生徒の個別指導を充実させる必要がある。
- 日々のHRの時間で体験学習や学校行事への積極的な参加を促すことに努めた。
- 新入生に対して、レポートの進め方を個別で細かく指導した。
- 新しい環境に馴染めるよう、家庭と連携を図りながら対応している。
- 自信がない生徒が多いなかで、三年間で成長できる指導、環境を用意できている。課題は、なかなか積極的に参加できない生徒への働きかけである。



..... [評価項目] 2年生

具体的目標

- 学習の習慣化の定着による学力の向上
- 進路意識の向上を目指す。
- 学校行事への積極的参加

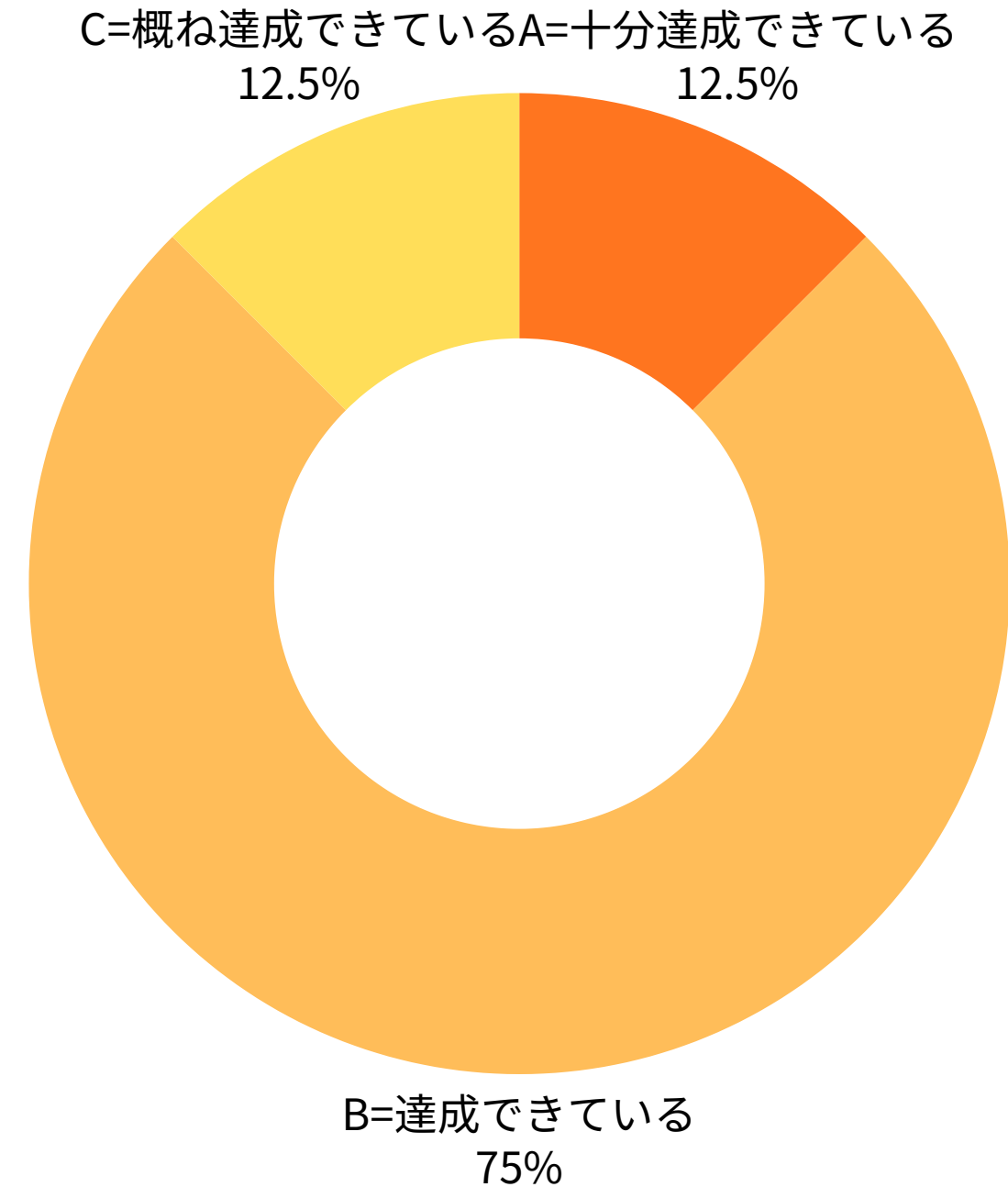
具体的方策

- 個別指導を通して生徒の自覚を促し、スクーリング・出席率・レポートの提出率の向上を目指し、学力の向上を図る。
- 悩みを抱えている生徒の情報把握・生徒理解に努め、適切な対応に心がける。
- 進路の情報収集に努め、進路目標を持たせる。
- 学校行事への参加を呼びかけ、友人との交流を図る。

[評価項目] 2年生

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 計画的に学習を進められる生徒が増えてきている。進路の相談が功を奏している。
- 個別指導を通して生徒の自覚を促せたが、提出が遅れる生徒への対応が課題となった。次年度は前もって動けるように教員間でもより共有を充実させる必要がある。
- エデュチャットやHRの時間に学校行事の案内や参加への声掛けを実行できた。
- 学習進度を頻繁にチェックし、進度が遅い生徒に対して早め早めに対処する。進路について4月より特別授業を行っている。
- 進路を意識させた指導をしている。
- 多くの生徒は達成できている。一部生徒がどうしても遅れがちで、なかなか改善しないことが課題である。



[評価項目] 3年生

具体的目標

- 単位取得の徹底と卒業への意識づけ
- 進路希望の実現
- スクーリングや校外学習への積極的な参加による学校生活における充実感の向上
- 学習意欲の持続・学力の向上
- 進路指導の充実

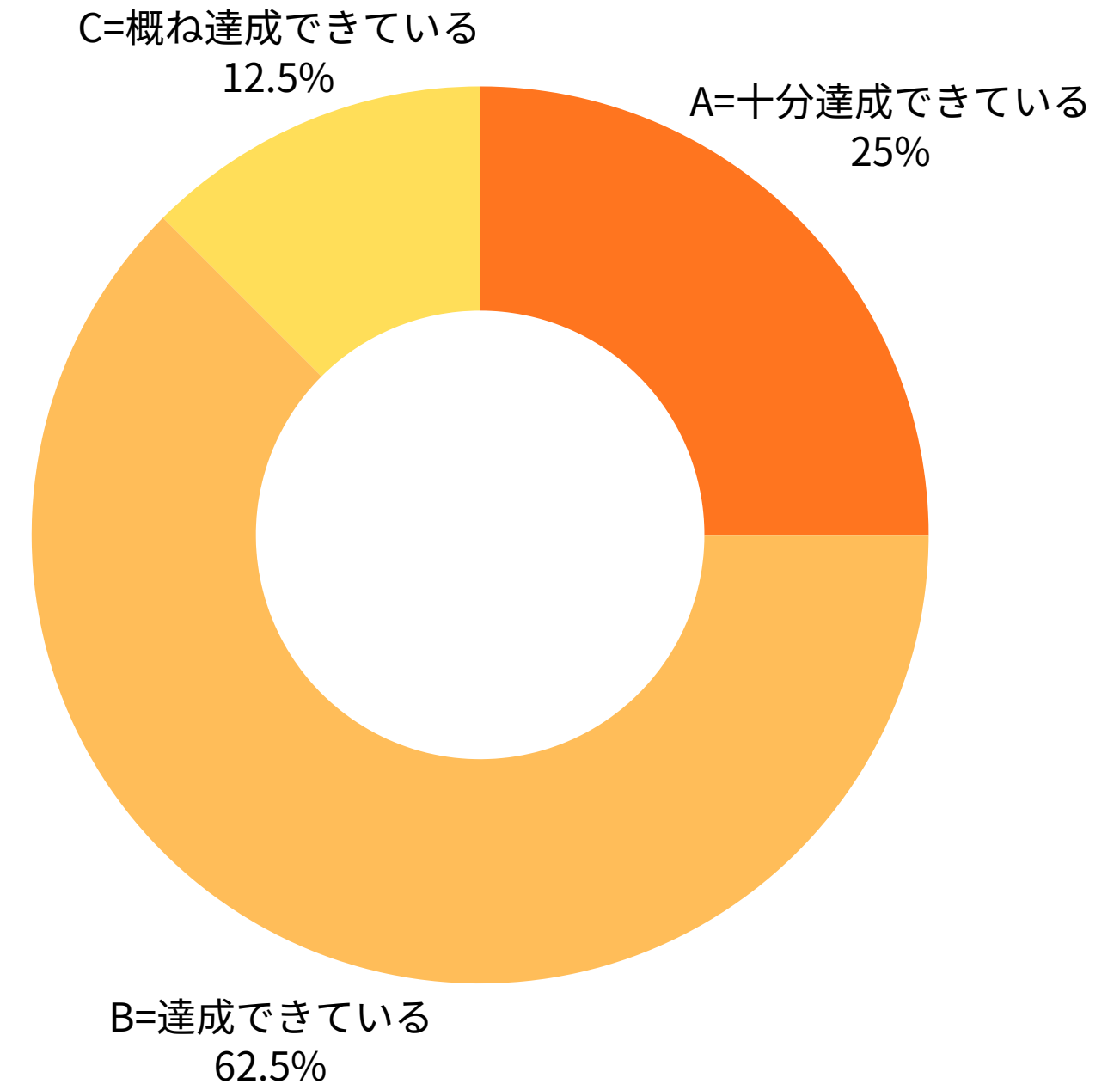
具体的方策

- スクーリングや面談を通じて学習指導の徹底を図り、単位取得を促し、卒業への意欲を高める。そのためにも、生徒や家庭との連絡を密にとり、三者の思いを共有する。
- 将来に向けての動機付けを行い、進路に対する意識を向上させる。
- 経験から学ぶ体験学習をはじめとした学校行事への参加を呼びかけ、地域と学校との一体感を味わわせる環境づくりに努める。
- 個別面談あるいは個人学習状況表の確認などで、生徒のレポート提出やスクーリングの参加状況を把握し、生徒の卒業を確実に行う。
- 常勤・非常勤教員と連携し、生徒一人ひとりに応じた適切な学習・進路指導に努める。

[評価項目] 3年生

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 進路を考えさせられ特別授業の回数も増やし、生徒の関心も高まっている。
- 生徒の卒業につなげられるよう心がけたができない生徒も出た。より家庭との連携を強化する必要がある。
- スクーリングや面談を通じて学習指導の徹底を図り、単位取得を促し、卒業への意欲を高め、3年生全員の卒業単位認定をサポートできた。
- 2年生と同様に学習進度を頻繁に確認し、進度が遅い生徒に対して早め早めに対応する。夏休みに三者面談を実施する。
- 1.2年から続けてきた進路指導の集大成として、早めの行動を促し、個々に寄り添った指導をしている。
- 多くの生徒はスケジュール通りにできているが、一部スクーリング出席がどうしても順調でない生徒がいる。卒業を希望していたが、できずにもう一年のばす生徒も少数だがいる。



[評価項目] 事務関係

具体的目標

- 生徒、保護者からの依頼文書等の対応を適切に行う。
- 関係機関との信頼関係の構築を図る。
- 学校業務が円滑に図れるよう心を配るようになる。

具体的方策

- 学割や定期、願い届出等に対する処理を適切に行っていく。
- 関係機関との信頼関係を築きながら、必要となる文書の作成や生徒・保護者への配布などを適切に行うようになる。
- 学校業務を行う上での環境の整備に心がける。また、学校への問い合わせ等の外部との対応も的確に行うようになる。

[評価項目] 事務関係

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 正確性が求められる業務である。複数のチェックが入るように進められている。
- 適切に行うように心がけてはいたが提出が遅れることがあり、内容確認が不十分な場面も見受けられた。次年度はより精度を高める。
- 学校業務を行う上での環境の整備に心がけることができた。
- 学割や定期、願い届出等に対しての処理を適切に行っている。
- 適切な書類処理が行われている。業務環境を改善したい。
- 連絡はこまめに、正確に行うように心がけ、概ね達成できている。課題はミスや連絡漏れが一部あることで、生徒保護者との信頼関係を損ねないように努めたい。
- スピード感をもって届出の処理を行っている。

